

浜岡原子力発電所 地下構造特性調査のうちボーリング調査の開始について

平成 20 年 9 月 24 日

当社は、新潟県中越沖地震に関連した国等の動向を踏まえ、浜岡原子力発電所の地下構造特性にかかわる既往の調査結果の信頼性を確認するとともに、知見をより一層充実させるため、発電所の敷地および敷地周辺の地下構造特性の調査を実施することとしました。

(平成20年8月8日お知らせ済み)

本日、調査項目の一つであるボーリング調査を開始しましたのでお知らせします。

この調査では、発電所敷地内1箇所に深さ約1,500mの孔をあけ、地盤を構成する岩石などを連続的に(棒状に)採取した試料を観察して地質の状況を調査します。さらに、このボーリング孔を利用して、PS検層(※1)等を実施し、地下構造特性を確認します。

なお、調査期間は約10ヶ月程度を予定しています。

※1 PS検層とは、地上で起振装置により弾性波〔P波(縦波)・S波(横波)]を発生させ、ボーリング孔内に設置した受振器により振動を測定することで、地盤内を伝播する弾性波の深さ方向の速度分布について確認する調査です。

以 上